

没後
100年
記念

松井須磨子

トルストイの「復活」のカチューシヤで一世風靡した松井須磨子は、
島村抱月とともに日本の歴史に新しい時代の息吹をもたらしした。日本初の新劇女優・松井須磨子の人生が、
栗原小巻によって演じられる！出演
栗原小巻

音楽《ピアノ》城所 潔

構成・演出
加来英治

美術=石井強司 / 衣裳デザイン=栗原小巻 / 照明=山本博史 / 音響=西田 実 / 舞台監督=大山慎一

2019年

5月11日(土) 開場14:30 開演15:00

かめあり

リリオホール

入場料金

4,500円(全席指定/税込)
シンフォニークラブ会員 4,000円

お問い合わせ ロシアンアーツ ☎03-5919-1051

かめありリリオホール ☎03-5680-3333

かつしかシンフォニーヒルズ ☎03-5670-2233

<http://www.k-mil.gr.jp>

ロシアンアーツ ☎03-5919-1051

主催
共催
協力
後援ロシア文化フェスティバル日本組織委員会
葛飾区文化施設指定管理者
京成電鉄株式会社
ロシア連邦外務省/ロシア連邦文化省/
駐日ロシア連邦大使館/ロシア連邦文化協力庁/
ロ日協会/INARTEX/ロシアンアーツ/葛飾区/葛飾区教育委員会〒125-0061 葛飾区亀有3-26-1 リリオ館9階
電車 東京メトロ千代田線直通 JR亀有駅南口駅前 徒歩1分

発売日 2019年1月22日(火) ※未就学児入場不可

松井須磨子没後100年記念

(1919~2019)



松井須磨子没後100年記念祭 ＜映画・トーク・音楽＞

2019
5月9日(木) 15時開場/15時30分開演 (18時40分終演)
東京・浜離宮朝日ホール小ホール
入場料2,000円 (全席自由)

2 [ロシア] 映画 「女優」上映

1947年制作。東宝配給。衣笠貞之助監督。山田五十鈴(松井須磨子役)、土方与志(島村抱月役)他、赤木蘭子、薄田研二、志村喬、伊豆肇、北澤彪ら出演。明治末年から大正初年にかけて日本の新劇が黎明期にあった頃、坪内逍遙の主宰する文藝協会を中心に設立された演劇研究所に二度の結婚に破れた女が応募してきた。自己を解放するために女優として生き抜こうとする小林正子=松井須磨子であった。

5月9日(木) 16:45 浜離宮朝日ホール小ホール 115分

3 トーク 「松井須磨子とロシア」

講師/山形大学教授・相沢直樹先生



松井須磨子は当時のわが国で喧伝されていた「新しい女」を体現する「女優」として、明治から大正の変わり目に彗星のごとく登場し、島村抱月が旗揚げした芸術座の看板女優となって人気を集めました。スペイン風邪で急逝した抱月の後を追うように、大正8年(1919)に33年に満たないその生涯を自ら閉じました。映画などの影響もあって、須磨子には「恋に生き、恋に死んだ女優」というイメージも生まれています。

芸術座はロシア文学に基づく芝居を積極的に上演しました。ただ、芸術座にはロシア語ができる人がいなかったため、多くの場合、英訳を通してロシア文学に接しましたし、ロシアの文化や習慣に直接触れたり、ロシア人と交流・交渉する機会に恵まれていた訳ではありません。松井須磨子と芸術座が当時のわが国におけるロシア文化受容にどのように貢献したのかを考えながら、須磨子の生涯と芸術座の活動を追ってみたいと思います。

5月9日(木) 15:30~16:00 浜離宮朝日ホール小ホール 30分

4 須磨子とトルストイの曲を演奏

ピアノ演奏、ピアノソロ編曲/川西宏明



- 演奏曲目
- 中山晋平作曲
 - カチューシャの唄
 - ゴンドラの唄
 - さすらいの唄
 - トルストイ作曲
 - トルストイの主題による「ロシアの夜会」
 - ヴァルレーモフ作曲
 - 赤いサラファン
 - 通りは吹雪が吹いている

コンサートでは、島村抱月が日本で初めて演劇の舞台に歌を導入し、松井須磨子が舞台上で歌い一世を風靡した劇中歌「カチューシャの唄」(トルストイ原作<復活>)、「ゴンドラの唄」(ツルゲーネフ原作<その前夜>)、「さすらいの唄」(トルストイ原作<生ける屍>)の哀愁漂うメロディーや、その中の原作者でロシア文学を代表する文豪トルストイの作曲した「ワルツ」、そして「赤いサラファン」「通りは吹雪が吹いている」といったロシアで今でも有名な曲を、大正ロマンの時代感、19世紀のロシアの香り、また寒さ厳しいロシアの国の情景などが思い起こされるような、心に染み入るピアノの響きとアレンジでお届けしたいと思います。

5月9日(木) 16:00~16:30 浜離宮朝日ホール小ホール 30分

川西宏明プロフィール/香川県出身。ニュー・イングランド音楽院大学院修士課程ピアノ科を修了。在学中より、自作、編曲作品による演奏活動を始め、多数のコンサートに出演。ベルタレコード「猫のシャンソン」、「竹久夢二と大正ロマン」、「バリトンで歌う愛の歌」、他において、作曲、編曲、ピアニストとして参加。これらCDを含むベルタレコード、その他で、録音エンジニアとして録音、編集、マスタリングを担当する。日本的な作品や左手のアルペジオを得意とし、最近では、写真家や日本舞踊家とのコラボレーションなども精力的に行なっている。

松井須磨子



出演
栗原小巻

ピアノ演奏/城所潔

2019
5月11日(土) 14時30分開場/15時開演
かめありリリオホール
入場料金4,500円 (全席指定/税込)

構成・演出/加来英治
照明/山本博史
音楽/西田実
美術/石井強司
衣装デザイン/栗原小巻
舞台監督/大山慎一 90分

トルストイ「復活」のカチューシャで新時代の息吹きをもたらした